

Open Up *the Future*
医療の未来を切り拓く



コーポレートコミュニケーションツールのご案内

田辺三菱製薬は、ステークホルダーの皆様へ当社グループに対する理解を深めていただくために、制度開示資料に加え、各種コミュニケーションツールをご用意しています。

持続的成長に向けた取り組みをお伝えするために

田辺三菱製薬コーポレートレポート2019

株主・投資家をはじめとしたさまざまなステークホルダーの皆様へ、田辺三菱製薬の持続的成長に向けた取り組みをお伝えするための統合報告書と位置付けて制作しています。編集においては、国際統合報告評議会(IIRC)^{*1}が提示するフレームワークを参考にし、「価値創造ストーリー」では、長期的な当社の価値創造能力をわかりやすくご紹介し、「事業・財務戦略」、「非財務情報」、「経営成績・データ」では、価値創造を支える当社事業のそれぞれの取り組みやデータを詳しくご説明しています。

^{*1} 国際的な企業報告フレームワークの開発をめざして、民間企業・投資家・会計士団体・行政機関等によって2010年に設立された民間団体。



社会の持続可能な発展に向けた取り組みをお伝えするために

CSRサイト(コーポレートサイト内)

患者さんご家族、医療関係者、株主・投資家、地域社会、従業員など、幅広いステークホルダーの皆様を対象に、田辺三菱製薬が実施した主なCSR活動(社会の持続可能な発展に向けた取り組み)をお伝えするために制作しています。企業理念に基づいた具体的な取り組みを、ISO26000の中核主題に沿ってご報告するとともに、それらの取り組みに関する従業員や外部関係者の方々のメッセージを掲載した「VOICE」や、関連データをまとめた「データ集」などを掲載しています。



<https://www.mt-pharma.co.jp/shared/show.php?url=../csr/report/index.html>

SRIインデックス^{*2}への組み入れ状況 (2019年6月現在)

田辺三菱製薬のCSR活動への取り組みが高く評価され、以下のSRIインデックスに組み入れられています。

^{*2} 企業の財務面だけでなく社会的責任(CSR)を評価・選定の基準とする社会的責任投資(Socially Responsible Investment)の指標。



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数(WIN)

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM



その他のコミュニケーションツール

幅広いステークホルダーの皆様へ当社グループの事業内容をご理解いただくために、コーポレートサイトを公開しているほか、冊子版のコーポレートプロフィールを制作しています。

コーポレートサイト

田辺三菱製薬の企業情報に加え、株主・投資家の皆様向けのIRサイトや健康支援サイトなど、各種専用サイトをご用意しています。



<https://www.mt-pharma.co.jp>

コーポレートプロフィール

「田辺三菱製薬 コーポレートレポート2019」のダイジェスト版です。



目次

03 価値創造ストーリー

- 03 田辺三菱製薬の価値創造モデル
- 05 強み
- 07 マテリアリティ
- 09 事業・戦略
- 10 価値創造へのアプローチ
- 11 社会への価値提供
- 13 財務・非財務ハイライト



15 事業・財務戦略

- 16 社長メッセージ
- 23 財務担当役員メッセージ
- 25 米国事業
- 29 事業プロセス別戦略
 - 29 創薬
 - 33 パイプライン
 - 35 育薬
 - 37 サプライチェーン
 - 39 営業



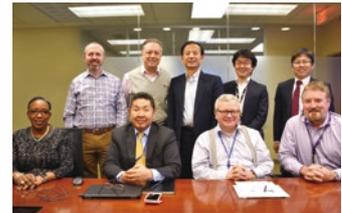
41 非財務情報

- 42 コーポレート・ガバナンス
- 46 リスクマネジメント
- 47 社外取締役メッセージ
- 49 取締役・監査役
- 53 製品の品質保証と安定供給
- 54 製品の適正使用の推進
- 55 倫理的で公正・誠実な事業活動
- 56 ステークホルダーとの対話と信頼される情報開示
- 57 従業員の健康と多様性の尊重
- 58 人々の健康に関連する社会貢献活動
- 59 環境への取り組み



60 経営成績・データ

- 61 10ヵ年連結財務サマリー
- 63 経営成績および財政状態の分析
- 67 事業等のリスク
- 69 重点品の概要と販売動向
- 75 財務諸表
- 82 用語解説
- 83 沿革
- 85 会社情報／投資家情報



国際財務報告基準の適用

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上等を目的として、2016年度より国際財務報告基準(以下、IFRS)を適用しています。また、2015年度の諸数値につきましても、IFRSに準拠して表示しています。日本基準からIFRSへ変更するにあたっての調整の詳細は、2016年度決算短信のP.27をご参照ください。

(決算短信) <https://www.mt-pharma.co.jp/ir/data/mtpc/2903/pdf/2016ren.pdf> (2017年5月10日開示)

将来予測表記に関する特記

当コーポレートレポートの記載内容のうち、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいた将来予測表明です。これらの将来予測表記には、既知、未知のリスクや仮定などが含まれており、それらの可変要因やその他のリスク要因によって、実際の成果や業績などが、記載の予測とは大きく異なる可能性があります。